令和８年度病害虫発生予察注意報第 10 号

令和８年 10 月 30 日
愛　　知　　県

作 物 名：ナス（施設）
病害虫名：ミナミキイロアザミウマ

１　発生地域　　県内全域
２　発生程度　　多い
３　注意報発表の根拠
（１）10 月下旬に実施した巡回調査（10 地点 20 ほ場）において、本虫の発生ほ場率は 45.0%（平年 29.2%、昨年 25.0%）で過去 10 年間と比較して３番目に高く、寄生葉率は 11.95%（平年 2.83%、昨年 1.20%）で**過去 10 年間と比較して最も高い**。
（２）名古屋地方気象台 10 月 29 日発表の１か月予報によると、向こう１か月の気温は高いと見込まれており、本虫の発生に好適な条件が予想される。

４　防除上注意すべき事項
（１）青色の粘着板などを利用して発生状況をよく観察し、早期発見に努める。
（２）本種の発生を認めたら、表を参考に密度の低いうちに防除する（表）。
（３）本種は薬剤感受性が低下しやすいので、同一系統の薬剤の連用は避ける。
　なお、天敵や訪花昆虫を導入しているほ場では、それらの影響に注意して薬剤を選定する。
（４）本種の施設内への侵入を防ぐため、防虫ネット(白色系は目合い 0.4mm 以下、赤色系は目合い 0.8mm 以下)を利用する。防虫ネットにやぶれがある場合は補修する。

５　連絡先
愛知県農業総合試験場環境基盤研究部病害虫防除室　（電話 0561-41-9513）

表　なすのアザミウマ類・ミナミキイロアザミウマに対する主な防除薬剤

作物名	適用害虫名	農薬名	使用時期	本剤の使用回数	IRAC コード
なす	アザミウマ類	ファインセーブフロアブル	収穫前日まで	3回以内	34
		スタークル/アルバリン顆粒水溶剤	収穫前日まで	2回以内	4A
		ディアナＳＣ	収穫前日まで	2回以内	5
		アファーム乳剤	収穫前日まで	2回以内	6
		グレーシア乳剤 ※1	収穫前日まで	2回以内	30
	ミナミキイロアザミウマ	コテツフロアブル	収穫前日まで	4回以内	13

※１使用上の注意：水なす及び賀茂なすには薬害を生じることがあるので使用をさける
IRAC コードは殺虫剤の作用機構による分類を示す。IRAC コードの詳細は、
https://www.croplifejapan.org/assets/file/labo/mechanism/mechanism_irac03.pdf を参照する。薬剤の使用に当たっては、ラベルの表示事項を守ること。